

グランパランだより

平成18年7月発行
創刊号

グランパランいまり広報委員会



祝！創刊！！

広報誌 グランパランだより の創刊に寄せて



理事長
太田 明二

梅雨が明けた様な青空、入道雲と本当に暑い日です。
此处、数年来、急速な高齢化社会を迎えつつある時、明るい環境の下に安心して老後を暮らせる空間を作る目的として、当施設が入所オープンしてから早1年が経過しました。
その間、スタッフ一同、入居者の方々が満足して生活出来る様、努力して居る所であります。
そして、此の度、入居者、利用者及びそのご家族の方々との連絡、親睦を深める目的の一環として広報誌グランパランだよりを発刊する事となりました。
一回目の事で内容、編集、その他不備の事もあろうかとは思いますが、皆様方のご教示、御批判を頂き、このグランパランだよりが2回、3回と末永く続きます事を祈念致し創刊のご挨拶とさせていただきます。

明治・大正・昭和・平成と日本の激動期を生き抜いてこられた今のご高齢の皆様のご苦勞の下に現在の何不自由ない生活があるということを私達は決して忘れてはならないと思っております。『終わりよければ全てよし』という諺がありますが皆様の人生の最後の時間を過ぎて頂く当ホームの役割は重責でございます。生まれてきて良かった、生きていてよかった、そしてここに来て良かったという言葉と笑顔と笑い声が溢れるホームでありたいと願っております。智恵と工夫を出し合いまだまだ努力が必要なホームでございます。どうぞご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



ホーム長
赤司 耕子



支配人
片桐 博雄

昨年4月にオープンして早1年が過ぎました。スタッフとの出会い又、入居者様とご家族様のご理解とご支援に励まされ、無我夢中の1年であったように思います。
今後の経営方針としましては、現在国の政策である「三位一体」まさにスタッフ、ご家族様、入居者様との連携を密にした現場発信による、介護環境づくりを目指します。又、3年後に障害者サービスも介護保険サービスの中に統合されるとの事です。益々厳しくなる介護保険制度、素晴らしいスタッフと共にオープン時の基本に戻り頑張っていく所存でございます。皆様方のご支援を心よりお願い申し上げます。